

きべりはむし掲載の報文に関する訂正 コマルガタゴミムシとニセコマルガタゴミムシの関係について

森 正人¹⁾

きべりはむし 41 巻第 2 号 (2019) ; 36-41p. に掲載した「兵庫県のマルガタゴミムシ」の内容の一部について、筆者の間違いによる記述があったのでお詫びして訂正させて頂きたい。訂正すべき記述の部分は、「10. コマルガタゴミムシ」と「11. ニセコマルガタゴミムシ」の記録及び記述内容の一部、及び標本画像で、正しい内容は以下のとおりである。また、この機会に両種の相違点について、より詳細な記述及び画像も追加した。

10. コマルガタゴミムシ *Amara (Bradytus) simplicidens* Morawitz, 1863

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 川西市笹部 [仲田元亮, 1978]; 宝塚市弥生町, 玉瀬 [小田中健, 1993]; 但東町小谷 [高橋匡, 1982]; 明石市松江海岸, 明石川河口, 神戸市須磨浦, 芦屋川河口, 西宮市御前浜, 西宮市甲子園浜, 西宮市武庫川河口 [河上・稲畑, 2000]; 西宮市甲子園浜, 甲東園, 宝塚 [安井・初宿, 2012].

【標本記録】4exs, 香住町矢田川河口, 5-V-2012; 1ex, 上郡町神明寺, 16-X-2011; 1ex, 西宮市武田尾 (武庫川), 12-IV-2012, 伊藤主計採集; 4exs, 御津町 (揖保川) 7-VII-2003; 2exs, 小野市久我町 (加古川), 16-X-2010; 1ex, 神戸市道場, 3-I-2005; 2exs, 伊丹市軍行橋 (猪名川), 17-XI-2011.

体長は 9.0 ~ 11.5mm (筆者の標本)。基産地は函館。日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布, 屋久島や奄美大島の記録もある。国外では中国, 北朝鮮, 東シベリアに分布。次種に似ているがより大型で体型は太く, 前胸背側縁の円みがより強い (特に中央部) などの外見的特徴がある (写真 1)。♂交尾器中央片はより厚く (写真 3), また背面の膜質部は先端近くまで及ぶ (写真 5)。主に河川敷の草地や河畔林などで得られており, 前種よりも生息環境の幅は狭いように思える。

11. ニセコマルガタゴミムシ *Amara (Bradytus) sinuaticollis* Morawitz, 1862

【文献記録】西宮市甲子園浜 [河上康子・稲畑, 2000]; 波賀町赤西川 [安井・初宿, 2012].

【標本記録】4exs, 赤穂市 (千種川), 9-XII-2000; 3exs, 養父市八鹿町伊佐 (円山川), 10-X-1994; 2exs, 養父市ハチ高原



写真 1. コマルガタゴミムシ♂



写真 2. ニセコマルガタゴミムシ♂



写真 3. コマルガタゴミムシ♂
交尾器中央片側面



写真 4. ニセコマルガタゴミムシ♂
交尾器中央片側面

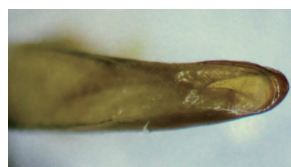


写真 5. コマルガタゴミムシ♂
交尾器中央片背面



写真 6. ニセコマルガタゴミムシ♂
交尾器中央片背面

28-IV-2003; 2exs, 宍粟市赤西溪谷, 3-VI-1996; 4exs, 御津町 (揖保川), 1-VII-2003; 1ex, 夢前町坪, 25-IV-1999; 2exs, 新宮町 (栗栖川), 13-V-2012; 1ex, 加西市段下町, 16-X-1998; 3exs, 加古川市八幡町 (加古川), 19-X-2010; 3exs, 龍野市小犬丸, 10-V-2003; 2exs, 神戸市道場 (武庫川) teneral, 21-IV-2012.

体長は 8.0 ~ 9.0mm (筆者の標本)。前種よりも有意に小さい。日本では北海道, 本州, 四国, 九州に, 海外では中国, 朝鮮半島に分布している。河畔林や河川敷草地に限らず, 果樹園や山地の乾燥した草地でも多く見られる。前胸背側縁の円みは弱く, 先端に向かって狭まる (写真 2)。♂交尾器中央片はより薄く (写真 4), 背面の膜質部は先端の手前で終わる (写真 6)。

¹⁾ Masato MORI 環境科学大阪 株式会社

筆者の間違いによって読者の皆様にご迷惑をおかけしました。深くお詫びします。なお、両種の関係については、森田誠司氏（東京都）が20年も前にタイプ標本を調査し、その違いを理解されており、筆者にもそれらの情報についてご教示頂いている。あらためて、森田氏にあつくお礼を申し上げます。